

Economic Value 経済的価値

マネジメントアプローチ 協働・共創を通じた持続的成長の実現



他の企業との協働・共創や地域社会との繋がりを深めることによって新たな価値を生み出し、社会から信頼される存在であることで、NXの持続的成長を実現します。

主要なサステナビリティ課題

- 品質の向上と新価値の創造

サステナビリティデータブックの記載内容

- グローバル・パートナーシップの強化
- 事業を通じた社会貢献

NXグループのアプローチ

- イノベーションを通じたお客様や社会への価値創造と社会課題の解決の推進
- 地域に密着した課題の解決と社会づくりへの貢献

協働・共創によるイノベーションの実現

グローバル・パートナーシップの強化

協働・共創によるイノベーション創出の考え方

方針・目標

NXグループでは、1937年の創立以来、物流を通じて社会の発展に貢献することを使命とし、さまざまな新サービス・ソリューションを提案してきました。一方で時代や環境は加速度的に変化しており、これまでNXグループに蓄積されてきた知見・経験を生かしながら、スピード感をもって新たな価値を提供していく必要があります。

こうした背景から、新しい事業アイデアや技術を持つスタートアップ企業との共創を通じて、私たち自身も変革し、お客様へ新たな価値をご提供することを方針としています。

オープンイノベーションの推進

活動・実績

NXグループでは、DX、サステナビリティの推進に資する新しい技術・事業アイデアや中長期での新事業に資する領域に強みを持つ国内外の有望なスタートアップとの事業共創を推進しています。2023年1月には、その活動を強化するため、NXグローバル投資事業有限責任組合(NX GLOBAL INNOVATION FUND)およびコーポレートベンチャリング部を新設して、今後、5年間で50億円を有望なスタートアップへ投資し、スタートアップとの関係を強固にしながら、オープンイノベーションを目指します。

Topics

日本通運、「パートナーシップ構築宣言」を公表（2022年12月）

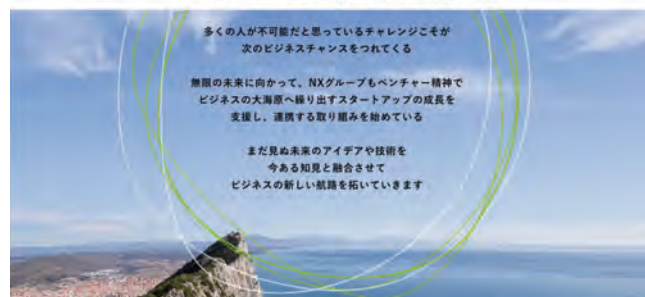
日本通運株式会社は一般社団法人日本経済団体連合会会長、日本商工会議所会頭、日本労働組合総連合会会長および関係大臣(内閣府、経済産業省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省)をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。「パートナーシップ構築宣言」とは、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆さまとの連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、企業の代表者の名前で宣言するものです。

サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆さまとの連携・共存共栄を進めつつ、新たなパートナーシップの構築を目指します。



詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

挑戦する航路を拓く



多くの人が不可能だと思っているチャレンジこそが次のビジネスチャンスをつれてくる

無限の未来に向かって、NXグループもベンチャー精神でビジネスの大海原へ繰り出すスタートアップの成長を支援し、連携する取り組みを始めている

まだ見ぬ未来のアイデアや技術を、今ある知見と融合させてビジネスの新しい航路を拓いていきます



5年間で50億円を有望なスタートアップへ投資するNXグループの投資ファンド



地域社会の発展への貢献

事業を通じた社会貢献

コミュニティ参画に関する考え方

方針・目標

NXグループの事業は、道路や鉄道、港湾、空港などの社会基盤の上に成り立っており、それぞれ関係する地域や社会と密接に関わっています。当社グループは、物流企業としての社会的、公共的使命を認識するとともに、地域社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます。

大学寄附講座への講師派遣

活動・実績

NXグループは、一般社団法人日本物流団体連合会（物流連）が物流人材育成を目的に大学生を対象に実施する講座に講師を派遣しています。「物流と環境問題」というテーマで講義を実施し、物流を通して地球温暖化等の環境問題の解決に取り組む当社グループの活動を紹介しました。2022年度は横浜国立大学の学生60名、法政大学の学生50名、青山学院大学の学生200名が受講し、大学生たちに物流に対する関心と理解を促すとともに、若い世代から率直な意見を収集する機会となりました。



寄附講座の様子

「NXグループの森」での森林育成活動

活動・実績

NXグループは、環境社会貢献活動の一環として、山形県飯豊町、鳥取県日南町に「NXグループの森」を設け、「森の多面的機能を高める」「地域社会への貢献」「環境人材の育成」をコンセプトに年に2回、町役場や森林組合などの協力・指導の下、計画的に植樹や下草刈りなどを行っています。これまでの森林育成活動には、約2,000名が参加し、10,000本以上の苗木を植樹しました。

2021年度に引き続き、2022年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、従業員が参加しての活動は中止となりましたが、飯豊町では地元運営委員会に依頼し、植樹した樹木の生育状態の調査を実施、また、日南町では森林組合による整備を継続し、どちらの森も順調に成長しています。当グループは引き続き、自然環境を次世代に紡ぐための活動に取り組めます。



育成状態の調査の様子

事業を通じた世界平和への貢献

活動・実績

日本通運株式会社フォワーディングビジネスユニットでは、アフリカ中部のカメルーンにおいて、現地の物流業者と輸出入通関や配達などの物流業務で協業しています。取り扱い貨物は車両や住宅設備、食糧など、現地での日々の生活や安全確保のために不可欠な物資です。カメルーンはアフリカ中部における物流の要衝であり、多くの中部アフリカ向け（発）貨物が集まります。中部アフリカの交通の要衝で確実な物流品質を提供し続けることで、中部アフリカ地域の治安の安定や平和構築、食糧危機の防止など世界平和に貢献しています。現在まで現地の物流業者とグローバルなパートナーシップを強化、拡大しています。

文化交流・社会貢献活動への支援

活動・実績

NXグループは地域に根ざしたさまざまな社会貢献活動を各地で展開しています。主な活動実績は下記のとおりです。

社会貢献活動実績（2022年度）

	参加・派遣延べ人数
清掃活動	9,630
交通安全運動	312
祭礼への協力・参加	616
職場献血活動	736
学校等への講師派遣	40

その他の社会貢献活動実績：日本通運野球部による野球教室の開催、学校建設、寄付（金銭、物品）など

Topics

NX国際物流（中国）有限公司、西安国際陸港グループに防護服2,000着を寄贈（2022年1月）

2021年12月のロックダウンにより、鉄道ターミナル駅の交通アクセスが制限され、ターミナルで働く人々の防護服が不足する事態に陥りました。このような状況下で、NX国際物流（中国）有限公司は、上海で緊急に防護服2,000着を調達して、物流網が混乱している中、上海から武漢、襄陽、西安まで1,000kmを輸送し、2022年1月7日、中欧鉄道の要衝である西安の鉄道ターミナルを運営する西安国際陸港グループに寄贈しました。

事業を通じた社会貢献

Topics

NXインド、カルナータカ州立学校に校舎を建設し寄贈(2022年4月)

NXインド株式会社では、かねてより建設を進めていた「Government Kannada Boys Model School」敷地内の校舎が完成し、2022年3月に学校側へ寄贈しました。

「Model School」とは日本の小学校～中学校に該当しますが、この学校は6歳から8学年、約700名の子どもたちが通学しています。近年、人口の増大から教室の数自体が不足しているという情報があり、今回の校舎建設・寄贈を決めたものです。校舎は2階建てで6つの教室があり、他の教室にはないタイル張りの床や換気設備を備えています。

竣工式(お祈り)の後に式典が行われ、学校側からは大きな歓迎と感謝の意が伝えられました。



Government Kannada Boys Model School



引き渡し式の様子/カルナータカ州政府関係者と

WEB

詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

日本通運、NX商事、カンボジア王国大使から感謝状贈呈(2022年7月)

日本通運株式会社(以下、日本通運)とNX商事株式会社(以下、NX商事)は、2022年7月に駐日カンボジア王国特命全権大使から、感謝状の贈呈を受けました。

NX商事では、自治体や企業のオフィス移転やレイアウト変更等で不要になった中古オフィス什器を海外に寄付する事業に取り組んでおり、環境省が推奨するリユース推進による循環型社会の形成や社会貢献、および持続可能な開発目標(SDGs)達成への取り組みに対する“具体的成果”の提示を具現化するスキームとして、多くのお客様から支持されています。

日本通運は、2021年末の汐留ビルの移転の際に不要になった中古オフィス什器をSDGsの理念である「国際貢献」「循環型社会の形成」等の実現のため、NX商事株式会社のスキームによりカンボジアへ寄付することを決定、中古オフィス什器が東京港からカンボジアへ海上輸送され、2022年3月にカンボジア青年連盟へ届けられました。

この日本通運のカンボジア青年連盟への寄付とNX商事の寄付スキームが評価されて、駐日カンボジア王国特命全権大使より日本通運、NX商事に対し感謝状を贈呈されました。



贈呈式の様子/ケム・ポリヴァット二等書記官(左から2番目)、トゥイ・リー特命全権大使閣下(同3番目)と

WEB

詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

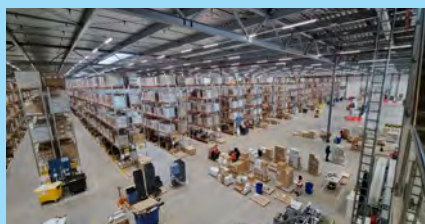
事業を通じた社会貢献

Topics

NX欧州、オランダにてエラスムス・ロッテルダム大学へのロジスティクスセミナーを実施(2022年11月)

NX欧州有限会社は、2022年11月、エラスムス・ロッテルダム大学経営学部(ESB)の学生約140人に対し、ロジスティクスに関するセミナーをロッテルダム・マースフラクテにあるNXオランダ株式会社の倉庫で実施しました。

エラスムス・ロッテルダム大学は、医学、経営学、経済学、国際行政学等の分野において世界から高い評価を得ている教育機関です。今回のセミナーは、同大学経営学部でサプライチェーンマネジメントを専攻する学生の修士課程の一環として、ロジスティクスの現場を身近に感じてもらうために実施しました。セミナーでは、荷主企業にもご協力いただき、倉庫内オペレーションの概要、お客様のサプライチェーンにおけるNXグループの位置づけなどをプレゼンテーションし、約102,000m²の倉庫施設を視察しました。学生からは、講義で学んだ理論が実際のオペレーションにどのように生かされているかを確認するため、多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



NXオランダの倉庫内観



セミナーの様子



詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

ベトナム大使、NXアグリグロウをご訪問(2022年8月)

NXグループは、2016年より、山梨県北杜市内に「NXアグリグロウ株式会社(旧：日通ファーム)」を設立し、耕作放棄地解消や地域の雇用に貢献するなど、同市が抱える課題解決に向け、地域と共に発展を目指し事業を進めてきました。また、2023年2月には、山梨県北杜市と農業の持続的な発展と地域経済の活性化を図るため包括連携協定を締結し、北杜市の基幹産業である農業を通じ、地域の持続可能な発展を目指した新たなモデルづくりに取り組んでいます。

2022年8月、ヴー・ホン・ナム駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使閣下が北杜市の企業を訪問され、その訪問先の一つに先端農業の現場としてNXアグリグロウへのご来訪を受けることになりました。



右から3人目、ヴー・ホン・ナム特命全権大使閣下、右から2人目、諸井社長



詳細は当社WEBサイトをご覧ください。